

体育会野球部が秋季リーグ戦で優勝 明治神宮野球大会でも健闘の準優勝!



8月31日から開催された2019年度関西学生野球連盟秋季リーグ戦において、体育会野球部が4季ぶり37回目の優勝を果たした。さらに優勝の感動がさめない10月28日には、南港中央野球場にて開催された第50回記念明治神宮野球大会関西地区代表決定戦(第17回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会)に挑み、天理大学に勝利して2年ぶり7回目の明治神宮野球大会出場を決めた。

そして迎えた11月15日からの第50回記念明治神宮野球大会。47年ぶりに決勝に勝ち進んだ野球部は、慶應義塾大学と対戦した。スタンドには、本学関係者や卒業生らが駆け

付けたのみならず、千里山キャンパスでもパブリックビューイングを実施。関大生が一丸となってエールを送ったが、惜しくも日本一には及ばなかった。

試合後、主将の松島さん(人4)は、「1戦1戦大事に野球をしようという思いでやってきて、ここまで来られたのは本当に幸せ。大学野球最後の打席、自分なりのスイングができた。応援も間違いなく日本一。スタンドを見て泣きそうになった」と、ここまで応援してくれた応援団や観客に感謝の意を述べた。「全国制覇」まであと一歩に迫った経験とたどり着けなかった悔しさは、次代にしっかりと受け継がれた。

リオ・オリンピック レスリング57キログ級の銀メダリスト、樋口黎さんがレスリング部の練習を指導



11月14日から4日間、樋口黎さんが体育会レスリング部の練習指導に訪れた。

樋口さんは大阪出身で、国民体育大会では府の代表として活躍。本学レスリング部OBとの交流もあったため、このたびの指導が実現した。

初日にはテレビ番組の取材もあり、部員たちは少し緊張した面持ちで練習に臨んだが、すぐに練習に集中。連日、メダリストから助言や指導を受けるという貴重な経験を通して、個々の競技能力の研さんに励んだ。

村野藤吾建物群の選定記念シンポジウムを開催

千里山キャンパスに現存する村野藤吾建物群が、一般社団法人DOCOMOMO Japanによる2018年度「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定されたことを受け、12月7日、記念シンポジウムが千里山キャンパスで開催された。当日は、村野氏が設計したKUシンフォニーホールにて、選定プレート贈呈式及び記念講演が行われ、約200人の聴講者は熱心に聞き入っていた。また、村野建築をイメージしたダンスパフォーマンスや建物見学ツアーも実施された。

村野藤吾氏は近代日本を代表する建築家の一人であり、1940年代後半から約30年にわたって千里山キャンパスの簡文館や岩崎記念館、円神館、誠之館など40棟以上の建造物を設計。現在の千里山キャンパスのデザインに大きな影響を与えた。



簡文館の中のらせん階段